

アクションプランの推進体制

多文化共生まちづくりの実現に向けては、行政だけでなく、区民の皆様や支援団体等と、それぞれの強みを最大限に生かし、連携・協働して取り組むことが必要です。

横浜開港の地・中区に育まれてきた「国際性」「ホスピタリティ」「進取の気性」を生かしながら、国籍を問わずすべての区民が自分らしく暮らし、認め合い、「オール中区」の一員としてともに活躍できる「多文化共生のまち」を目指していきます。



アクションプラン では、行政と関係機関が連携し、それぞれの強みを生かすことで包括的支援を実現します。

なか国際交流ラウンジの取組

●相談・情報提供

外国人市民に対して日常生活に関わる様々な情報を多言語で提供

【開館時間】

火・土曜日 10:00～20:00
上記以外 10:00～17:00

【対応言語】

日本語・英語・中国語

●日本語学習支援

- 日本語教室の開催や学習相談
- 地域のボランティア日本語教室との連携

●多文化共生ボランティアの派遣

通訳や翻訳などを行うボランティアを地域へ派遣



●地域との連携

地域イベントへの参加等を通じて、地域や学校・ボランティア等などの様々な団体と連携し、地域の多文化共生を推進



Rainbowスペースとにじいろ探検隊

- 外国につながる若者の居場所や人材育成、学習支援、表現活動等の拠点としてラウンジでRainbowスペースを開催
- にじいろ探検隊は外国につながる若者たちのグループで、Rainbowスペースの運営や、語学力を生かした通訳・翻訳などの地域貢献活動を実施



横浜市中区日本大通35 中区役所別館1階

【TEL】045-210-0667 【FAX】045-224-8343 【E-mail】nakalounge@yoke.or.jp

お問い合わせ先 中区役所区政推進課企画調整係 【TEL】045-224-8127 【FAX】045-224-8214 【E-mail】na-kikaku@city.yokohama.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



MULTICULTURAL
COEXISTENCE
PROMOTION
ACTION
PLAN
2ND TERM
NAKAWARD,
YOKOHAMA

第2期 横浜市中区
多文化共生推進
アクションプラン

概要版

「アクションプラン」、知っていますか？

中区では、国籍やルーツによらず誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指し、平成29年に「中区多文化共生推進アクションプラン」を策定し、多文化共生に向けた施策を推進してきました。

これまでの取組の成果などを踏まえ、令和3年3月に第2期アクションプランを策定。新たな取組をスタートさせています。



全体版はホームページで▶

ホームページのほか、次の場所で開催できます。中区役所6階区政推進課、なか国際交流ラウンジ、区内各地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ、市内各図書館、市庁舎3階市民情報センター

令和3年度
～6年度

「第2期中区多文化共生推進アクションプラン」で目指すもの

vision ビジョン

「みんなヨコハマ中区人」

～ともに中区の活力を生み出し未来をつくる担い手に～

出身地やルーツがどこにあっても、みんな中区に暮らすヨコハマ中区人です。異なる人たちが多様性の中で共に暮らすことで、中区をより豊かな社会とし、一人ひとりが大切にされていると感じ、互いに認め合い暮らしていけるまちを目指します。

基本目標

多言語での窓口対応や情報発信など、「**基礎的な支援の充実**」に引き続き取り組むとともに、「**地域とのつながりづくり**」を重点に進めていきます。ビジョン達成に向けて、3本の柱と9の基本施策を掲げ、取り組んでいきます。

オール中区の一員に

データで見る中区の多文化共生

外国人数・比率はともに市内18区で1位！

■区別外国人数及び比率（上位3区）

| 順位 | 外国人数 | 総人口 | 比率 | |
|----|------|--------|-----------|-------|
| 1 | 中区 | 16,892 | 149,236 | 11.3% |
| 2 | 鶴見区 | 13,123 | 291,611 | 4.5% |
| 3 | 南区 | 10,345 | 195,531 | 5.3% |
| | 横浜市 | 98,760 | 3,741,317 | 2.6% |

※横浜市統計情報ポータルより
※外国人数は平成31(2019)年3月末時点、総人口は同年4月1日時点



出身の国・地域は93！
多国籍化が進んでいます。

■国・地域別外国人数及び増加率
(上位8か国・10年前比)

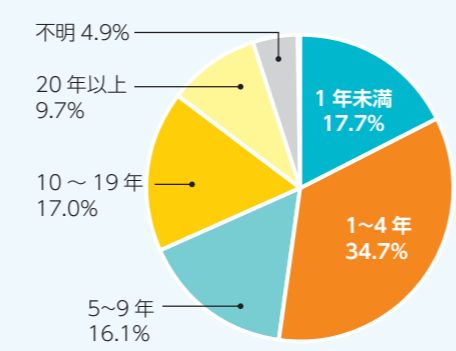
| 順位 | 国・地域 | 外国人数 (2019年3月末) | 外国人数 (2009年3月末) | 増加率 |
|----|-------|--------------------|--------------------|-------|
| 1 | 中国・台湾 | 10,133 | 8,328 | 22% |
| 2 | 韓国・朝鮮 | 2,147 | 2,834 | ▲24% |
| 3 | フィリピン | 777 | 968 | ▲20% |
| 4 | 米国 | 662 | 847 | ▲22% |
| 5 | ベトナム | 401 | 26 | 1442% |
| 6 | タイ | 330 | 277 | 19% |
| 7 | インド | 318 | 332 | ▲4% |
| 8 | ネパール | 270 | 8 | 3275% |

※横浜市統計情報ポータルより(平成24(2012)年6月末までは「中国」に「台湾」を含む)
※2009年と比較のため、2019年の「中国」と「台湾」は合わせて記載。

中国・台湾
出身の人数が
最も多い。

永住する人、短期滞在の人など、
中区に住む外国人の滞在年数はさまざまです。

■外国人滞在年数別割合



※中区外国人基礎調査
(令和元年度)より

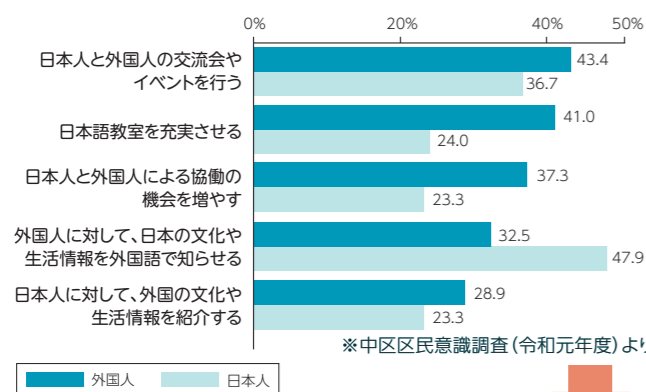
近年はベトナム、ネパール
国籍が急増しています。

中区に住む外国人の国籍、滞在年数は多種多様であることがわかりました。

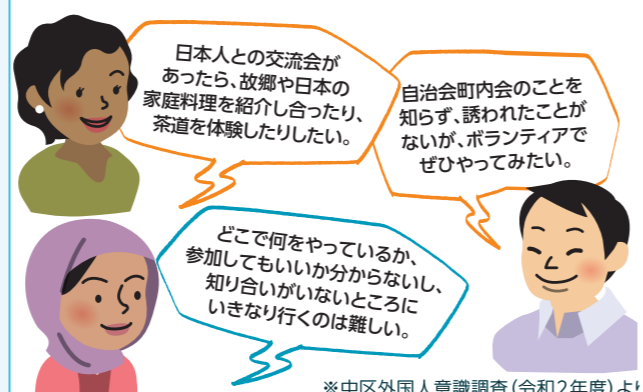
アクションプランでは、それぞれのライフスタイルやニーズに合わせた支援を進めます。

多文化共生に関するみんなの声

「多文化共生のまちづくり」を推進するために、
中区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？



外国人に日本人との交流、
地域活動について聞いてみました！



「地域の活動に参加したい」など、日本人と交流を求めている外国人が多いことがわかりました。

アクションプランでは、外国人も気軽に交流できるような地域づくりを目指します。

中区に住む・訪れる

中区らしいホスピタリティで受け入れられ、必要な情報を得られている。



自分らしく暮らす

安心していきいきと学び暮らし働いている。国籍を超えた交流が深まっている。



地域コミュニティの中で活躍し、中区への愛着が醸成されている。

柱1 知る・理解を深める

継続・拡充

中区に住む・訪れる外国人に対して必要な情報を提供するとともに、日本人・外国人双方の多文化共生への理解を一層深めます。

基本施策

- ①行政・生活情報の多言語化
- ②多文化共生の意識醸成
- ③外国人住民の暮らしを支える体制づくり(基盤づくり)
- ④日本語習得への支援

主な取組 多言語で窓口対応



コミュニケーションツールとして、区役所窓口に通訳スタッフを配置するほか、翻訳機器や電話通訳サービスなどを導入し、外国人にもわかりやすい窓口対応を行っています。

柱2 交流する・助け合う

重点

外国人住民の地域活動への関心を高め、日本人住民とともに活動・交流できる機会を増やし、国籍によらず地域で助け合える関係づくりにつなげます。

基本施策

- ⑤日本人と外国人の交流の充実
- ⑥外国人住民の暮らしを支える体制づくり(定住への支援)
- ⑦自分らしくいられる場づくり

主な取組 外国人向け両親教室



中国語を母語とする妊婦とその家族を対象に、通訳スタッフを配置した両親教室を行いました。出産や子育て情報の提供に加え、交流を通じて地域の子育て仲間づくりを支援しています。

柱3 つなぐ・広げる

重点

国籍やルーツを問わずすべての住民が「オール中区」の一員として、また地域を支える担い手として、ともに課題解決に取り組める社会を目指します。

基本施策

- ⑧地域活動への参加促進
- ⑨次世代の担い手となる人材の育成

主な取組

多文化共生地域
コーディネーター



なか国際交流ラウンジ※には、地域の多文化共生を推進するコーディネーターが配置されています。コーディネーターは、外国人が多く住む地域を中心に、自治会町内会の会合などに参加し、イベントへの多文化共生ボランティアの派遣など、外国人の積極的な地域参加を推進しています。

※なか国際交流ラウンジ
区役所別館1階にある外国人をサポートする窓口。多言語での生活情報の提供ほか、日本語教室や学習支援教室などを行う中区の多文化共生の拠点。